

文 部 省

初等科音樂 四



昭和十二年六月三日 刻印

(昭和十二年六月十五日 刻印發行)

(昭和十二年六月三十日 著作権登記)

初等科音樂三(第五學年用)

暫定價金五拾五錢

著作権所有
發行者 文部省

東京都京橋區銀座一、五

發行者 大日本圖書株式會社

代表者 佐久間長吉郎

印刷者 佐久間長吉郎

東京都牛込萬代町二ノ三二

印刷所 大日本印刷株式會社

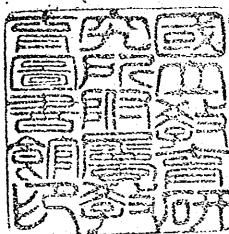
東京都京橋區銀座二丁目五番地

發行所 大日本圖書株式會社

Approved by Ministry
of Education
Date June 3, 1937.

目 錄

一 おぼろ月夜.....	1
二 姉.....	5
三 四季の雨.....	7
四 われは海の子.....	9
五 船出.....	15
六 スキー.....	21
七 夜の梅.....	23
八 早春.....	25



-1-

おはる月夜
歌合

$\text{♩} = 80$

p

$\# \text{3}$

一ナノハナバタカ ケニイリリヒウスロレモ
ニサトワナバタカ ケニイリリヒウスロレモ

p

$\# \text{3}$

一ナノハナバタカ ケニイリリヒウスロレモ
ニサトワナバタカ ケニイリリヒウスロレモ

mp

$\# \text{3}$

ミワタカスヤマノーハカミスドミフカシモ
ミタナカスヤマノーハカミスドミフカシモ

mp

$\# \text{3}$

ミワタカスヤマノーハカミスドミフカシモ
ミタナカスヤマノーハカミスドミフカシモ

-2-

mf

ハルカズカソクノヨクネークモソーカラネバモ
カハカズカソクノヨクネークモソーカラネバモ

mf

ハルカズカーーゼソのなくフネークモソーカラネバモ
カハカズカーーゼソのなくフネークモソーカラネバモ

p

ユフサヌヅガキラカカスリメーテルニオホボヒキシヨ
ユフサヌヅガキラカカスリメーテルニオホボヒキシヨ

p

ユフサヌヅガキラカカスリメーテルニオホボヒキシヨ
ユフサヌヅガキラカカスリメーテルニオホボヒキシヨ

一、おぼろ月夜

一菜の花畠に

入日薄れ、

見わたす山の端

かすみ深し。

春風をよ吹く

空を見れば、

夕月かかりて

にほひあはし。

二、里わの火影も、
森の色も、

田中の小路を

たどる人も、

蛙のなくねも、

鐘の音も、

さながらかすめる、

おぼろ月夜。

姉

mp *♩ = 152*

一 わが家に咲き出し白百合の
やきしき姉の、とつぎ行く
めでたき日なれど、などかくも
さびしさこもるあがね雲。

二 姉

二 わが家にかをりし白菊の
ゆかしき姉の、とつぎ行く
うれしき日なれど、などかくも
こよひはうるも空の星。

四季の雨

d=84

mf

ヲ一ノさ
ワガコを
ニシハの
ヅほノど
ミのコま
オはソお
リシニを
カバマは
カバマは
メめメめ
アーアー
ノのノの
ルツキゆ
ハナアフ
ジるグき
エぐソむ
モにリに
トかヲだ
ミチソき
フルはリく
クにヲに
ナレソさ
フルはリく
モリメと

アーアー
アーアー
ノのノの
ルツキゆ
ハナアフ
ジるグき
エぐソむ
モにリに
トかヲだ
ミチソき
フルはリく
クにヲに
ナレソさ
フルはリく
モリメと

三　をりをりそぞく秋の雨。
木の葉　木の實を野に、山に。
色さまざまに染めなしで。
をりをりそぞく秋の雨。

四　聞くたに寒き冬の雨。
窓の小簾にさやさやと
ふけ行く夜半をおどづれて。
聞くたに寒き冬の雨。

三「四季の雨」

一　降るとも見えじ　春の雨。
水に輪をかく波なくば
けぶるとばかり思はせて。
降るとも見えじ　春の雨。

われは海の子

♩ = 126

上段

ノテニテルも ミシカリタん
ミホツカコよふ コにクいニ
ナミノツヘさ ラあソやタう
シユイアキひよ

レマカラクみ ハテクのせに
ワウタぢやいな 一ま一うクー

一一一一
一二三四五六

下段

ノテニテルも ミシカリタん
ミホツカコよふ コにク一ニ
ナミノツヘさ ラあソやタう
シユイアキひよ

レマカラクみ ハテクのせに
ワウタぢやいな 一ま一うクー

一一一一
一二三四五六

ニキリラリや ラキアクアン
バトリマナレ ツたヲミヒそ
ノのノぬキれ マう力な力お
ベリナめタた ツたヲミヒそ
ゾもハだかき イコノさりば
グをンてヨラ ワみダくツた
サなフゆテキ 一ニ三四五六
ノのノぬキれ ラキアクアン
ベリナめタた バトリマナレ
ソも一だ一
グをノてリば ワみンくヨラ
サなフゆテキ 一ニ三四五六
イコハさ力き ラキアクアン
ベリナめタた バトリマナレ
マう力な力お ツたヲミヒそ

ソをヲこるも
コキゼそタき
ヤの力のミま
マミクミロつ
トうフうクた
クるニロニル
ビくツひぜぐ
ナセマーチカあ
タよノロホき
リリサヒシま
ムンギモクみ
ケセナもフう
一二三四五六

レリクシニジ
ナケキロラカ
力にハヒガロ
ミリレはナド
スナワニサお
キとトるウレ
シベクたドコ
カラガレクお
ツわキなシャば
ナテジビハラ
ガヒミソダコ
ワすイあハお
一二三四五六
キとトるウレ
シベクたドコ
一ら一れク一
カわガなシャ
スナワニサお
ツてキビハバ
ナヒジソダラ
ガーミー二コ
ワナイあハお
一二三四五六

四、われは海の子

一 我れは海の子、白波の
さわぐいそべの松原に、
煙たなびくとまやこそ、
わがなつかしき住みかなれ。

二 生まれて潮にゆあみして、
波を子守の歌と聞き、
千里寄せくる海の氣を、
吸ひて童となりにけり。

三 高く鼻つい、その香に、
不斷の花のかをりあり。
なきさの松に吹く風を、
いみじき樂とわれは聞く。

四 文餘のろか、あやつりて、
ゆくて定めぬ波まくら、
ももひろちひろ海の底、
遊びなれたる庭廣し。

五 いくどせここにきたへたる
鐵より堅きかひなり。
吹く潮風に黒みたら
はだは赤銅あかねさながらに。

六 波にたたよふ冰山も、
來たらば來たれ、恐れんや。
海巻きあぐる龍巻も
起らば起れ、おどろかじ。

船出

三部合唱

♩ = 112

mf

一フ ふフ ナナナ デでデ ダダダ ザをノ カヤク カニミ
二フ ふフ ナナナ アコキ サババ カミウ ガヤク ナミニ
三フ ふフ ナナナ デでデ ダダダ ザをノ カヤク ナミニ

f

一フ ふフ ナナナ ノキカ リダヘコ スるク ネネネ
二フ ふフ ナナナ セセウ リダヘコ ネネネ ホのチ ハキラ
三フ ふフ ナナナ ホのチ ハキラ リダヘコ ネネネ フ

Three staves of musical notation in G clef, 2/4 time, and a key signature of one flat. The music consists of eighth and sixteenth notes. The lyrics are:

アサヒハ イロドルトヨハタモ グモヲ
ばんりの くろしほは やて もぞに ケダ
ナミタツ ウミデモシヅカナ イケダ

アサヒハ イロドルトヨハタモ グモヲ
ばんりの いくウミデモシヅカナ イケダ
ナミタツ ウミデモシヅカナ イケダ

アサヒハ イロドルトヨハタモ グモヲ
ばんりの いくウミデモシヅカナ イケダ

Three staves of musical notation in G clef, 2/4 time, and a key signature of one flat. The music consists of eighth and sixteenth notes. The lyrics are:

ハはハは ハは ヒアラ
ナデグランボククラノヒカ
フナでだラボボボコロ

ハはハは ハは ヒアラ
ナデグランボククラノヒカ
フナでだラボボボコロ

ハはハは ハは ヒアラ
ナデグランボククラノヒカ
フナでだラボボボコロ

一 船出だ。朝風、輝く波に
乗り出す少年、帆を張れ、今だ。
朝日は、いろどる、
豊旗雲を。
船出だ。ぼくらの腕はひびく。
船出だ。この身を、この魂を
鎧へる少年、乗り切れ、今だ。

二 船出だ。この身を、この魂を
萬里の黒潮はやても何ぞ。
船出だ。ぼくらの矢聲はあがる。

三 船出だ。希望の海原さして

海國少年、力だ、今だ。

波立つ海でも静かな池だ。
船出だ。ぼくらの心はおどる。

五、船出

-21-

スキー

d=120

mf

4

テテヘ
ビセギ
アラミ
ヲドヘ
サをダ
アミヒ
ハツシヤ
ルのル
カカヨ
サキン
カはヨ
キルリ
ニマド
ルクク
ケやネ
カヒマ
ヨのヲ
ルンラ
ケレレ
カシワ
コタア

-22-

六スキ

一 山は白銀ヒガタ、朝日を浴びて、

すべるスキーの風切る速さ。

飛ぶは粉雪か、まひたつ霧か。

おおおちこの身もかけるよかける。

二 真一文字に、身ををどらせて、

さつと飛び越す飛鳥の翼。

ぐんとせまるはふもとか、谷か。

おおおたのしや、手練の飛躍。

三 風をつんざき、左へ、右へ、

飛べば、をどれば、流れる斜面。

空はみどりよ、大地は白よ、

おおおあの岡われらを招く。

-23-

夜の梅

♪=152

コズナエマバニモラサキソマメシニ
ハナツバサカニミカエミネシャモジ
ヨガルモリカグレカカオニメデテモ
ママドドハザサカヌメヤツミキノウメメ

-24-

七、夜の梅

一 梢まばらに咲きそめし

花は、さやかに見えねども、
夜もかくれぬ香にめでて、

窓はとざさぬやみの梅。

二 花も、小枝もそのまゝに
うつる墨繪の紙障子。

かをりゆかしく思へども、

窓は開かぬ月の梅。

-25-

早 春

三部合唱

$\text{♩} = 144$

mf

エリフカゼハサムケレドニユキゲノニ
ニをがはのきしのあつごほり一いつしかと

mf

エリフカゼハサムケレドニユキゲノニ
ニをがはのきしのあつごほり一いつしかと

mf

エリフカゼハサムケレドニユキゲノニ
ニをがはのきしのあつごほり一いつしかと

-26-

ハニシラーヴメノーツボミヤサシクブ
けーであしのめもーすがーたゆかしくも

vf

ハニシラウメノーツボミヤサシクフ
けーであしのめもーすがーたゆかしくも

vf

ハニシラウメノーツボミヤサシクフ
けーであしのめもーすがーたゆかしくも

クラミヌーハルキタールラシオトモナク
えいでぬーはるきたーるらしわがーむらにー

クラミヌーハルキタールラシオトモナク
えいでぬーはるきたーるらしわがーむらにー

クラミヌーハルキタールラシオトモナク
えいでぬーはるきたーるらしわがーむらにー

八、早 春

襟ふく風は寒けれど、

雪消の庭に 白梅の

つぼみやさしくふくらみぬ。

春きたるらし 音もなく。

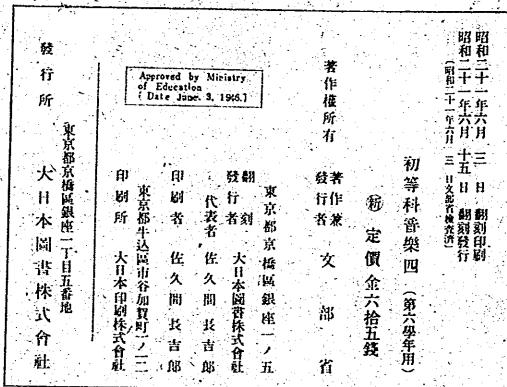
二 小川の岸の厚氷

いつしか解けて あしの芽も

姿ゆかしくもえ出でぬ。

春きたるらし わが村に。

k.15419-2



1953.12. 錄入